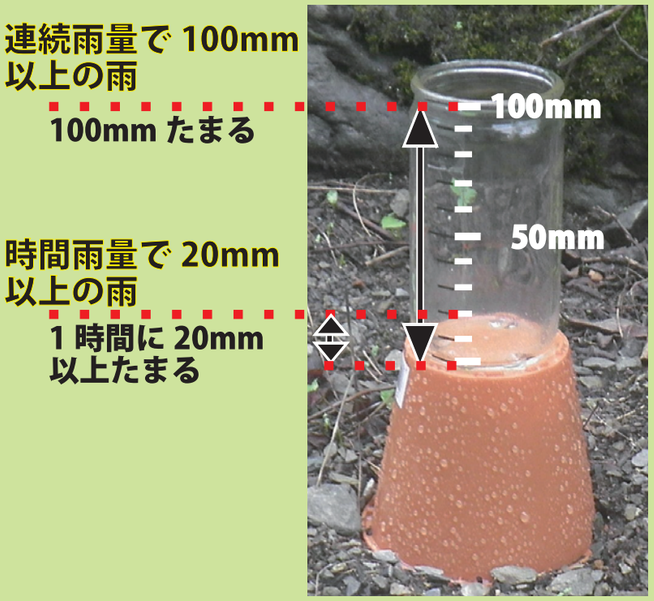
雨と土砂災害の関係を知りましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。
なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

■ 誰でも簡単に雨量計測できる簡易雨量計測の方法

カップ酒のビンなどの**寸胴の容器にメモリをつけて**、雨が降り始めたら、**地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に**容器を設置。こまめにたまった**水の深さを確認**しましょう。



高さ 10cm のカップ酒の瓶を使った雨量計測

※ 1 時間に 20mm の雨のイメージ
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。
これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

土砂災害警戒情報
地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示
災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発令される情報

前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を発見したら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には

がけに割れ目が見える

がけから水が湧き出ている

がけから小石がパラパラと落ちてくる

土石流の発生前には・・・

急に川が濁り、流木が混じっている

雨が降り続いているのに、水位が下がる

山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・

井戸水が濁る

地面に割れ目が見える

斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

■地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
■ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
■小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる　　など

災害情報サービスをご活用ください

防災釜石広報 ☎ 0800-8003199（通話料無料）※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHS から利用可能です。
防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

尾崎白浜町内会自主避難計画

尾崎白浜町内会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

①　日頃からやっておくこと

裏面の防災マップを参考に、降雨時に確認できる予兆現象や、自宅周辺の避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）、避難経路、住民間の連絡方法を確認しておきましょう。カップ酒の瓶等を用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

②　雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

●土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
（※1 時間に 20mm、連続雨量で 100mm の雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
●**避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。

③ 自主避難基準　に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！

自主避難基準　次のような状況になったら、ただちに避難を開始します。

- □ 避難開始の**目安となる現象が１つでも確認**された場合
（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- □ 地区内のがけや沢で**土砂災害の予兆現象（裏面に示す現象）が確認**された場合
- □ 釜石市役所が**避難勧告や避難指示（緊急）**を発令した場合
（避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方は、避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき早めの避難を開始します）

自主避難基準が確認されたときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応を取ってください。
土砂災害のおそれのある区域の外に出ることを心がけましょう。

比較的安全と思われる最寄りの建物・場所へ避難
→旧へき地保育所
→時間に余裕のある場合：平田小学校体育館

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合**は、
自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた建物の２階以上へ避難

この計画は、平成 28 年 10 月～12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、尾崎白浜町内会として検討したものです。

釜石市　平田地区
洪水・土砂災害緊急避難地図
尾崎白浜町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 避難開始の目安となる現象
- 降雨時に確認される前兆現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄
- 比較的安全と思われる場所や建物

その他の地域情報

避難の目安

◆排水管の中を石が音を立てて流れ始めたとき

◆雨水が排水できず道路に溢れ流れたとき

【連絡】

消防団巡回監視→（異常時）→町内会長へ通報
　町内会長→避難の呼びかけ、および市に通報

・市街中心部は明治の三陸津波の後に移転したところ。

土砂災害の危険性

岩手県砂防基礎調査結果に基づく区域

- **土砂災害の危険性が特に高い区域**
- **急傾斜地崩壊の危険性が高い区域**
- **土石流の危険性が高い区域**

岩手県による土砂危険区域

- **がけ崩れの発生するおそれのある区域**
- **土石流の発生するおそれがある区域**

その他の危険性

- **平成 23 年東北地方太平洋沖地震津波の浸水範囲**

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の空中写真及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 28 情使、 第 618 号）

0　100　200　300　400 m

時間に余裕のある場合
平田小学校体育館へ避難

大雨のとき、
崖から水が湧く

大雨で斜面が崩れた
（平成 14 年頃）

大雨のとき、道路が砂利で埋まったことがある

旧へき地保育所

がけ崩れによる道路通行止め（平成 14 年頃）

大雨のとき、家の裏のがけから、水が出ることがある

大雨のとき、がけの上から水が流れる

水が出たことがある
（30 年ほど前）

車が入れるのはここまで

地割れがある

排水管の中を石が音を立てて流れ始めたとき

大雨のとき、道路下の排水管のなかを流れる石がゴロンゴロンと音を立てることがある

床下浸水した（震災の前の年）

排水管の呑み口が小さいので、枝葉がつまると溢れることがある

旧尾崎小学校ポンフ室裏の石垣から、大雨のとき大量の水が出ることがある

大雨のとき、石が転がる音がし、その後に水が流れ出した（震災の前）

水が出て、溢れたことがある（震災の前の年）

雨水が排水できず道路に溢れたとき

普段は涸れ沢。
大雨のときには、道路を水が流れる。立ち木や土砂が流下することがあり、排水不良となる

大雨のとき、愛宕様のところから水が出ることがある

平成 29 年 3 月作成